

手賀沼終末処理場内の一時保管施設への 放射能汚染ゴミ焼却灰の搬入停止

昨年の12月21日から搬入が始まった3市(柏市、松戸市、流山市)からの高濃度放射性物質を含むゴミ焼却灰(指定廃棄物：1kg当り8千ベクレル以上10万ベクレル未満)の搬入は、柏市の5月31日の搬入を最後に停止されました。

早期の搬入停止は、これまでの様々な取組みの成果だと思えますが、特に、広域近隣住民連合会の人たちの搬入開始から約半年間の活動—寒い日も暑い日も監視活動、市民に対する情報提供のための説明会の実施、3市に対する早期搬入停止や保管の安全性についての要望、総務省の公害等調整委員会に調停の申請—によるところが大きかったと思えます。

自分たちの地域の安全は自分たちで守ろうとする市民の姿勢に脱帽するとともに、今後、市の最重要課題に対して、迅速に対応できる市議会のあり方を考えていきたいと思えます。



(汚染焼却灰の保管建屋)



【3市のこれまでの搬入量】(5月31日現在、千葉県ホームページより)

・柏市： 296.30 t	} 合計量 526.12 t
・流山市： 177.85 t	
・松戸市： 51.97 t	

※搬入された放射性物質濃度の最高値：53,600Bq/kg(柏市5/31)

【公害等調整委員会における調停】

(第3回調整委員会後の環境省での記者会見)

※公害等調整委員会とは？

公害紛争を民事訴訟で争った場合、解決までに多くの時間と費用がかかるなど、被害者の救済の面では十分ではなかったことから生まれた総務省の行政委員会で、裁定や調停等によって公害紛争の迅速・適正な解決を図ることを主な任務としている。

- ・第1回調停：平成25年2月21日
- ・第2回調停：　　〃　　4月11日
- ・第3回調停：　　〃　　6月19日



6月19日に行われた3回目の調整委員会では、これまでの2回の委員会と異なり、初めて調停らしい動きが出てきました。

冒頭、委員長から裁判と調整委員会との違いについて説明があり、その後、参列した申請人は初めて発言を求められました。

また、委員長は申請人の要望を確認したうえで、県に対して、「県はこれまで申請人の要望に対して一切歩み寄りを見せなかった。特措法に基づいて適切に対処していると主張しているが、住民が不安を抱えているのは紛れもない事実である。県は住民に対してしっかりと説明責任を果たし、住民の要望に真摯に耳を傾けるべきである。」という旨の指摘をしました。

委員長の発言に対して、県からは、「調整委員会のご指摘ですから持ち帰って検討します。」との答弁がありました。

県から初めて「持ち帰って検討します。」との答弁を引き出したことは、大きな前進であると思います。また、懸案であった調整委員の手賀沼終末処理場への現地視察も実現する見込みとなりました。

広域住民連合会や申請人の皆さん、そして弁護士の皆さんの努力の賜物だと思います。

【今後の課題】

- ・ 国に、最終処分場の早期完成を強く要望すること
- ・ 県に、搬入された指定廃棄物が飛散・流出しないよう万全の体制を講じさせること
- ・ 県に、平成27年3月31日までに指定廃棄物を撤去するよう確約させること(最終処分場ができない場合は搬入3市へ)
- ・ 搬入3市に、県と搬入市で締結した協定書の一時保管期間(平成27年3月31日まで)を厳守させ、そのための搬出計画を早急にたてさせること

手賀沼終末処理場における

下水道汚泥焼却灰のその後は？

手賀沼終末処理場では、3市から高濃度の放射性物質を含むゴミ焼却灰が搬入される以前から、高濃度の放射性物質を含む下水道汚泥焼却灰が発生し、それらが保管されていました。そして、現在でも、毎日約3トンから5トン発生し続けていますが、2月から8,000ベクレル以下の汚泥焼却灰の搬出が始まり、5月末までに832トン搬出しました。その結果、焼却灰の保管量は1月末から400トン減少し、5月末現在、約2,100トン(内8,000ベクレル以上の指定廃棄物550トン)となっています。

放射性物質を含んだ汚泥焼却灰の月毎の保管料の推移

	焼却灰保管量(t)	焼却灰保管量(袋)	搬出量(t)
平成25年1月末	約2,500	4,476	—
平成25年2月末	約2,500	4,492	約100
平成25年3月末	約2,300	4,231	約294
平成25年4月末	約2,300	4,213	約156
平成25年5月末	約2,100	3,945	約282



(我孫子市下水道課資料)

(建屋内の汚泥焼却灰)

あびこ「洪水ハザードマップ」「地震ハザードマップ」によると

手賀沼終末処理場は市内で一番危険な場所！

☛洪水ハザードマップ⇒浸水深5メートル

※洪水ハザードマップとは？

利根川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合の浸水想定に基づいて、浸水する範囲と浸水深ならびに避難場所を示したものです。

☛揺れやすさマップ⇒震度6.2強(市内で一番強い揺れの地域)

※揺れやすさマップとは？

我孫子市直下の地震を想定し、その地震による最も大きい揺れを予測した地震の震度を50メートルメッシュ単位で表示したものです。

☛液状化危険度マップ⇒液状化の可能性『極めて大きい』

※液状化危険度マップとは？

市内の詳細な地形図をもとに、液状化の発生可能性を評価したものです。

☛建物全壊率マップ⇒建物の全壊率『30%以上』

※建物全壊率マップとは？

揺れやすさマップで予想された震度の揺れに襲われたとき、それぞれの地域での建物全壊率を50メートルメッシュ単位で表示したものです。

国の最終処分場の候補地選定の基本的考え方によると、「安全な処分に万全を期するため、自然災害のおそれがある地域を除外」することになっています。現在、指定廃棄物の一時保管場所となっている手賀沼終末処理場は、自然災害のおそれがある地域であり一刻も早く撤去すべき！

Information



➤手賀沼花火大会

8月3日(土)午後7時～8時30分

3年ぶりの開催です。花火大会のために市役所やアビスタ等に募金箱を設置しています。また、我孫子駅や天王台駅で街頭募金をしています。ご協力よろしくお願いいたします。

なお、我孫子会場では有料観覧席を販売します。販売のお知らせは、7月1日号の広報やホームページに掲載し、7月1日正午から市内のセブンイレブンでチケットの販売を始めます。

➤我孫子市の観光PRキャラクター 『手賀沼のうなきちさん』

「手賀沼のうなきちさん」の着ぐるみやキャラクターデザインが無料で使用できます。(要申請書提出)

また、各行政サービスセンターにはうなきちさんの名刺も置いてあります。地域の活性化のために、ご活用ください。

※着ぐるみ等の使用についての問い合わせは商業観光課へ

TEL: 7185-1475



➤風しんワクチンの助成

対象者：妊娠を希望している18歳以上の女性とその配偶者、妊婦の配偶者

助成額：風しんワクチンは3千円、麻しん風しん混合ワクチンは5千円を限度

※今年の4月から12月末までに接種した方

➤新つくし野歩道橋は8月下旬に完成

国道6号我孫子駅入口交差点で、既存のつくし野歩道橋の西側に、現在、新たな歩道橋を増設していますが、8月下旬に完成し利用できる見込みです。なお、歩道橋の仮設工事を行うため、我孫子駅入口交差点で、7月6日午前3時頃から30分程度、夜間通行止めとなる予定です。

また、既存のつくし野歩道橋は、新つくし野歩道橋の完成後に補修工事を行います。

➤特別養護老人ホームの整備

●広域型特別養護老人ホーム「アクイール」

定員100人、岡発戸に建設中で7月に完成見込み。

●広域型特別養護老人ホーム

定員100人、柴崎地先に来年度の開設をめざして整備。

●認知症高齢者グループホーム

我孫子北地区と湖北地区の認知症グループホームの整備事業者が決定されました。

